

共立女子大学・共立女子短期大学研究データ管理ポリシー

2025年2月4日 研究科長・学部長・科長会 承認

1. 目的

共立女子大学・共立女子短期大学（以下「本学」という。）は、「社会に広く貢献できる自立した人材を育成する。」という学園ビジョンのもと、「社会・地域の課題解決に向けた研究を推進し、その成果を広く社会に公開する」と定め、研究活動を通してその成果を社会に還元している。そこで、本学の研究活動方針に基づき、学術研究の持続的発展に資することを目的として、研究成果の価値を高め、データの再利用や研究者間の協働を促進するために、研究データの適切な管理・公開及び利活用を推進する研究データ管理ポリシーを以下のとおり定める。

2. 研究データの定義

本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集又は生成された情報を指し、デジタル・非デジタルを問わない。

3. 研究データの管理

本学は、原則として、研究データを収集又は生成した研究者が当該研究データを適切に管理する権利と責務を有していることを認め、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、法的及び倫理的要件に従って、研究データの管理を実施する。

4. 研究データの利活用と研究者の責務

本学は、研究データが学問の発展や将来社会の実現に貢献する基盤となることを認識し、特段の理由がない限り、研究者はデータの利活用を推進する責務を有する。また、研究データの公開、共有、再利用など、適切な方法での利活用を通じて、社会への還元を促進する。

5. 本学の責務

本学は、研究者が管理する研究データの価値を高める支援を行い、データの再利用や研究者間の協働を促進する方策を提案すると共に、公開及び利活用するための環境を整備する。

6. その他

本ポリシーは、社会や学術状況の変化に応じて適宜見直しを行うものとする。改廃については、運営委員会の議を経て研究科長・学部長・科長会の承認を得るものとする。